

清川村の風景と美津峯焼

みつみねやき

美津峯焼とは

美津峯焼は清川村で作られている陶器という焼物です。
陶器とは土や石の粉で形をつくり、釉を塗って焼く焼物です。
ここでは、美津峯焼の良いところを紹介します。



環境にいい

まず、一つは「環境に良い」というところです。美津峯焼は左上の写真のように、作ったときの削りカスを水に溶かしてこねると、美津峯焼のもとになり、もう一度作れるようになるのです。

美津峯焼はまだ環境にいいことがあります。それは、釉にお茶の出がらしやあまった炭を使っているところです。（左下の写真）



↑こねてもとになった美津峯焼の削りカス

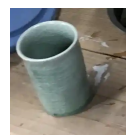


清川村の材料

他にも、美津峯焼には「清川村の材料を使っている」という良いところもあります。
例えば、釉の炭には宮ヶ瀬の木の炭を使っているということです。
他にも、「セラダナイト」という谷太郎川に落ちている石を釉に使っています。
私は、川に落ちている石を使っているのにもきれいな色で驚きました。



↑灰釉で作った美津峯焼



↑セラダナイトの釉で作った美津峯焼

一つ一つ手作り

また、「一つ一つ手作り」というところも美津峯焼の良いところです。

美津峯焼は、岩澤さんが一つ一つ手で作っているのです。だから、美津峯焼は一つ一つ違うのです。

そして、美津峯焼の柄は清川村の風景を表したものです。



↑岩澤さん



道の駅と美津峯焼

このように美津峯焼には沢山の良いところがあります。

美津峯焼は清川村の「道の駅」に売っています。
みなさんも是非、美津峯焼を買って、日常生活のなかで使ってみませんか。

